

科目名 Course Name	ICDコーディング I International Classification of Diseases Coding I			ナンバリング No.	D1-004		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	菊池 優子						
連絡先(質問等)	講師室1Fまたはメールで対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1、DP2、DP5						
授業の概要と到達目標	我が国の IT 化に伴い、全国の病院も電子化され包括医療・DPC を取り入れている。DPC に欠かせない、ICD コーディングの基礎と ICD-10 国際疾病分類の習得を図る。 ① ICD-10 に関するコーディングの基礎知識を習得し疾病分類ができるようにする。 ② DPC 算定による ICD コーディングの必要性を説明できるようにする。 ③ 病名以外の記載内容を理解し分類ができるようにする。						
授業の方法	PC の操作を学習しながら、ICD の概要を理解し、様々な疾患についての演習問題を繰り返し行うことによって、コーディングの習得方法を図る。						
学習成果	L01						
	L02	ICD コーディング 3 級に合格できる。					
	L03						
	L04	世界保健機関(WHO)による疾病分類をすることができる。					
課題に対するフィードバック	テストの結果を返却し、必要に応じて解説を行う。						
教科書/参考図書	ICD コーディング基本テキスト(日本コーディングセンター)						
履修上の留意点やルール等	●演習問題が中心となる。PC 操作がスムーズにできるよう基本を理解すること。ICD コーディング検定を受験する場合は必ず履修すること。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 90 分とする。						
担当教員の実務経験	●実務経歴 (職種:診療情報管理士 職歴:19 年)DPC 算定病院での症例や、ICD コーディング算定方法時の指導に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	基礎知識・演習を理解している。授業に集中して取り組んでいる。		20		
レポート/作品	宿題等で提出を求めた課題の内容と提出率で評価する。				10
発表					
小テスト	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。		10		20
試験	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。		40		
その他	検定試験の合否により加点する。				
合計			70		30

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス・概要説明 PC操作について
	事前・事後学習	事前:テキスト 1~11 ページ 事後:コーディングソフトの使用方法を学んで繰り返し練習する。
2	授業内容	ICD コードブックの使い方、操作練習
	事前・事後学習	事前:テキスト 12~25 ページ 事後:コードブックの操作の仕方を学習する。
3	授業内容	ICD コードの基本学習
	事前・事後学習	事前:テキスト 28~32 ページ 事後:コードの意味や必要性について学習する。
4	授業内容	ICD コードおよびコードブックの構成について
	事前・事後学習	事前:テキスト 33~35 ページ 事後:例題を通して学んだコーディングの方法が身につくように練習する。
5	授業内容	索引表および内容例示について
	事前・事後学習	事前:テキスト 36~43 ページ 事後:索引表および内容例示を正しく活用できるように学習する。
6	授業内容	コーディングの手順および例題
	事前・事後学習	事前:テキスト 44~53 ページ 事後:コーディングの手順に従って例題を解いていく方法を学習する。
7	授業内容	注釈の意味・略語「NOS」「NEC」の意味について
	事前・事後学習	事前:テキスト 58~61 ページ 事後:様々な注釈の内容を理解し、略語の意味についても学習する。
8	授業内容	各種記号等の意味について
	事前・事後学習	事前:テキスト 62~72 ページ 事後:種々の記号の意味や使い分けについて学習する。
9	授業内容	「包含」「除外」の意味・相互参照について
	事前・事後学習	事前:テキスト 73~77 ページ 事後:「包含」「除外」の意味や相互参照の意味を理解しながらコーディングの仕方を学ぶ。
10	授業内容	関連用語について
	事前・事後学習	事前:テキスト 78~84 ページ 事後:様々な関連用語の意味を理解し、適切にコード付けをする方法を学習する。
11	授業内容	単一コード・複合コードについて
	事前・事後学習	事前:テキスト 86~87 ページ 事後:単一コードと複合コードの違いについて学習する。
12	授業内容	ダブルコード・多発病態コードについて
	事前・事後学習	事前:テキスト 88~91 ページ 事後:ダブルコード・多発病態コードの違いについて学習する。
13	授業内容	任意的追加コードの取り扱い方法について
	事前・事後学習	事前:テキスト 92~93 ページ 事後:任意的追加コードの取り扱い方を理解する。
14	授業内容	病名が急性と慢性の両方を含む場合について
	事前・事後学習	事前:テキスト 94~95 ページ 事後:急性のみ、慢性のみ、両方を含む場合のコーディング方法を学習する。
15	授業内容	続発後遺症のコード化、その他の病名のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 96~99 ページ 事後:術後の合併症や後遺症の病名の分類方法を学習する。
16	授業内容	新生物のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 100~105 ページ 事後:部位別の分類と性状を表すMコードの分類方法を学習する。

17	授業内容	産科関連コードとZコード
	事前・事後学習	事前:テキスト 106～112 ページ 事後:妊娠、分娩、産褥の分類方法について学習する。
18	授業内容	新生児関連コード
	事前・事後学習	事前:テキスト 113～115 ページ 事後:新生児の分類と合わせて先天奇形の分類についても学習する。
19	授業内容	薬物および外因コード
	事前・事後学習	事前:テキスト 116～118 ページ 事後:薬物の副作用や外傷の分類方法について学習する。
20	授業内容	病名に関するコーディング演習
	事前・事後学習	事前:テキスト 144～147 ページ 事後:様々な病名の分類方法を学習する。
21	授業内容	病名に関するコーディング演習
	事前・事後学習	事前:テキスト 148～151 ページ 事後:様々な病名の分類方法を学習する。
22	授業内容	病名に関するコーディング演習
	事前・事後学習	事前:テキスト 152～155 ページ 事後:様々な病名の分類方法を学習する。
23	授業内容	病名に関するコーディング演習
	事前・事後学習	事前:テキスト 156～159 ページ 事後:様々な病名の分類方法を学習する。
24	授業内容	病名に関するコーディング演習
	事前・事後学習	事前:テキスト 160～163 ページ 事後:様々な病名の分類方法を学習する。
25	授業内容	ICD コーディングの体系的整理(章別例題演習)
	事前・事後学習	事前:テキスト 120～124 ページ 事後:体系的に整理された病名の分類方法を学習する。
26	授業内容	ICD コーディングの体系的整理(章別例題演習)
	事前・事後学習	事前:テキスト 125～128 ページ 事後:体系的に整理された病名の分類方法を学習する。
27	授業内容	ICD コーディングの体系的整理(章別例題演習)
	事前・事後学習	事前:テキスト 129～132 ページ 事後:体系的に整理された病名の分類方法を学習する。
28	授業内容	ICD コーディングの体系的整理(章別例題演習)
	事前・事後学習	事前:テキスト 133～136 ページ 事後:体系的に整理された病名の分類方法を学習する。
29	授業内容	ICD コーディングの体系的整理(章別例題演習)
	事前・事後学習	事前:テキスト 137～141 ページ 事後:体系的に整理された病名の分類方法を学習する。
30	授業内容	学習のまとめ
	事前・事後学習	試験に備えてのコーディング練習。